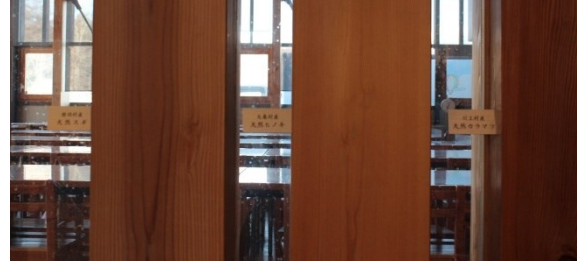


★ランチルーム入り口左にある杉・檜・カラマツの柱（村有林交換プロジェクト）



中学校の建設を機に、下伊那郡根羽村の杉や木曾郡大桑村の檜などの村有林と互いに貸し合う交換プロジェクトが誕生しました。

ランチルーム入り口左の柱は、そのことを記念して立てられた柱です。

★ランチルーム



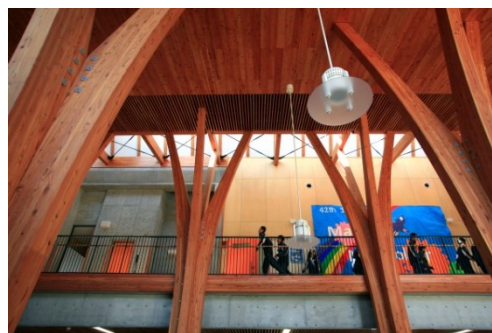
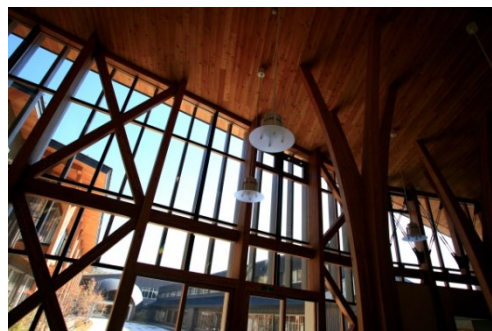
川上中学校の生徒全員が一堂に会して給食を食べることができるランチルームは、天井を高くとり、2面をほぼガラス張りとした開放的な部屋にしました。灯りを支える支柱にも村内産カラマツをふんだんに使い、遠足の時に木立の中で食事しているような雰囲気を作りだしています。

中学校の全生徒が集まるので、生徒は全員と顔見知りになっていて温かな交流を深めるのに役立っています。ランチルームに使われている、机やイスも村内産カラマツを利用しており、机の表面は、木のようにつながるよう作ってあります。





## ★ギャラリー



原生林をイメージしたギャラリーは、生徒昇降口から普通教室棟に向かう途中にあります。林立するカラマツと、小動物が走り回る上空の木立（ここでは2階通路）のような造りは、柔らかい日差しがしっかり入る大きな窓と相まって、ゆったりとした気分で教室に向かうことができる空間です。

ギャラリーには、スケート部等の歴代のトロフィーを飾るスペースや、旧校舎に展示されていたツキノワグマの剥製、ランチルームの机に使われているのと同じ川上産天然カラマツの壁などもあります。

## ★愛地球博カナダ館の階段（ギャラリー内）

地場材を活かしただけでなく、2005年に開催された「愛・地球博」カナダ館で使われた樹齢300年のダグラスファー（米松）の木製階段をギャラリーから普通教室棟につながる階段に使わせられました。

このダグラスファーは、3度目の再利用となります。

